

シラバス詳細

タイトル「2024年度 保健医療技術学部」、カテゴリ「大学 保健医療技術-作業」

科目情報

科目名	英文科目名
[[[高齢期作業療法評価学]]]	Occupational Therapy Evaluation for Geriatric
他学部他学科履修可否	クラス
	OT2
担当教員	実務経験のある教員による授業科目
大橋幸子	
学年	開講学期
2年	前期
開講時期	曜日・時限
前期	火2
講義室	科目種別
C-302	講義
ナンバリング	科目区分
OCEV201OT07	作業療法評価（必修）
単位区分	単位数
必	1
キャリア該当科目	備考
ディプロマポリシー	直接参照URL
他者を尊重し、共感性をもってコミュニケーションを図ることができる。 職業人としての常識的態度を身につけ、幅広い教養と作業療法士に必要な基本的知識・技能を修得し、責任感をもって行動できる。 目標達成に向けて他者と協力し合い、建設的に行動することを努力できる。 課題を見出し、その解決に向けて分析と実践を模索できる。 倫理観を養い、自らの能力を高める努力を惜しまず、新たな課題にチャレンジすることができる。	https://portal.bgu.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=216200069512&formatCD=1

講義情報

授業の目的・到達目標

【授業目的】

- 高齢期障害の特徴と、高齢期作業療法に必要な検査・評価・情報収集について理解する。
- 高齢者の知的機能および認知症の検査・評価について理解する。

【到達目標】

1. 高齢期の問題および高齢期作業療法の対象となる主要疾患について理解することができる
2. 高齢期障害の特徴を理解し、適切な検査・評価および情報収集ができる
3. 機能的自立度評価表（Functional Independence Measure；FIM）によるADL評価ができる
4. ケーススタディによりICFの心身機能構造障害と活動制限の関係を検討することができる
5. 生活行為向上マネジメント（MTDLP）について説明できる
6. 認知症の評価方法について、それぞれの特性を理解し実施することができる

授業概要

1. オリエンテーション、高齢期作業療法における情報収集と留意点、介護保険制度
2. 高齢期作業療法における身体機能の評価1
3. 高齢期作業療法における身体機能の評価2
4. ADL・IADLの評価
5. ADLの評価：FIM①
6. ADLの評価：FIM②
7. 脳卒中片麻痺者の基本動作1
8. 脳卒中片麻痺者の基本動作2
9. 生活行為向上マネジメント（MTDLP）概論（高橋啓吾先生）
10. 生活行為向上マネジメント（MTDLP）演習（高橋啓吾先生）
11. 高齢者の認知機能と認知症の評価1
12. 高齢者の認知機能と認知症の評価2
13. 高齢者の認知機能と認知症の評価3
14. 高齢者の認知機能と認知症の評価4
15. 高齢者の認知機能と認知症の評価5

各回の授業内容

学習演題（予習・復習）

第1・2・3回

予習：教科書①p603-609をよく読んでください。

復習：講義内で触れた内容を整理してまとめてください。

第4回

予習：教科書①p222, 229-230, 234-237, 617-619, 教科書②p83-104を読んでおいてください。

復習：講義内で触れた内容を整理してまとめてください

第5回

予習：教科書②p90-104「セルフケア」項目を読んでおいてください

復習：教科書②p90-104「セルフケア」項目を整理してまとめてください

第6回

予習：教科書②p105-133をしっかりと読んでおいてください。

復習：講義内で触れた内容を整理してまとめてください

第7・8回

予習：脳卒中片麻痺について学習しておいてください。

復習：授業講義内で触れた内容を整理してまとめてください。

第9・10回

予習：教科書①p256-266をよく読んでください

復習：講義内で触れた内容を整理してまとめてください

第11～15回

予習：教科書①のp 609-621をよく読んでください

復習：教科書②⑥対応箇所を読んで理解を深めてください

※授業1回に対する予習・復習時間は合わせて1時間程度とする

授業方法

講義，演習

成績評価の基準

定期試験100%

教科書

- ①標準作業療法学・専門分野 作業療法評価学第3版，編集：能登真一他，医学書院
- ②脳卒中の機能評価—SIASとFIM[基礎編] (実践リハビリテーション・シリーズ) 千野直之，金原出版
- ③OT評価ポケット手帳第2版，濱口豊太，ヒューマン・プレス
- ④高齢者のための知的機能検査の手引き，大塚俊男，本間昭，株式会社ワールドプランニング，1991
- ⑤ベッドサイドの神経のみかた改訂18版，田崎義昭・斎藤佳雄，南山堂
- ⑥QOLを高める認知症リハビリテーションハンドブック，今村徹・能登真一，医学書院
- ⑦事例で学ぶ生活行為向上マネジメント 第2版，一般社団法人日本作業療法士協会，医歯薬出版株式会社

参考書

作業療法学ゴールドマスター・テキスト 老年期作業療法学，長崎重信・徳永千尋・田村孝司，メジカルビュー社，ISBN：978-4-7583-1677-4

実務経験のある教員による授業

。

実務経験の内容

常勤作業療法士として1986年4月より1992年3月まで大学病院系総合病院で勤務。

非常勤作業療法士として1991年12月より2000年4月まで総合病院およびリハビリテーション病院，1986年9月より2012年2月まで特別養護老人ホームおよび介護老人保健施設で勤務，1994年5月より2000年3月まで保健センターにおける訪問リハビリテーションに従事。

実務経験の当該科目への活用

医療機関および高齢者施設，訪問リハビリテーションでの作業療法業務を通して得られた実務経験をもとに，高齢期における作業療法評価に関する講義を行う。